

2020～2021 年度クラブ運営方針
「親睦を深めて奉仕活動・そして継続へ」



ロータリーは機会の扉を開く

国際ロータリー第 2750 地区 多摩中グループ

東京昭島中央ロータリークラブ

TOKYO AKISHIMA-CHUO ROTARY CLUB

2020 年（令和 2 年）7 月 22 日（水）
第 1485 回例会報告

事務局 〒196-0034 東京都昭島市玉川町 3-10-1 ヒルパークハイツ 1F TEL 042-544-1001 FAX 042-544-1002

●本日の司会

（志賀 義任副 SAA）



●開会点鐘

（鈴木 栄会長）

●ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

●本日のお客様

米山奨学生
シヨルカル エムディ カシヨルさん

●会務報告

（鈴木 栄会長）



皆様、こんばんは。先週の水曜日からコロナの感染者が増えまして、200 人を超えております。皆様、本当にお気をつけください。

本日はロータリーの豆知識として、ロータリーの新年度はなぜ 7 月 1 日から始まるのかということについて、お話をさせていただきます。その由来は毎年開催されている国際大会にあります。1905 年に 4 名でロータリーが開催され、1910 年 8 月にシカゴで最初の国際大会が開かれました。ポールハリスがロータリークラブの全米連合会の会長に選ばれました。大会と言いましても、その当時は 60 名程度のささやかなスタートでした。当時は、国際大会の終了の翌日、1910 年 8 月 18 日に年度が始まりました。翌年も国際大会の終了の日程に合わせ、8 月 21 日に新年度となりました。

しかし、1912 年に理事会が、当時の国際ロータリー連

合会の会計監査を会計士に依頼した際、クラブ幹事と会計が十分な時間を持って大会に向けた財務報告を準備し、クラブ代表議員の数を決定できるよう、会計年度の最終日は 6 月 30 日がよいとの提案を受けたそうです。執行役員会はこれに同意し、1913 年 4 月の理事会で、6 月 30 日を会計年度の最終日と決めました。

その後、1916 年まで 7 月か 8 月に年次大会が開かれております。なぜ、7、8 月かと申しますと、夏のパカンスで出席しやすいというのが理由だったそうです。しかし、8 月は暑いので、この年の年次大会にて 6 月に開催するという決定案を決議し、翌年の 1917 年 6 月に国際大会がおこなわれ、現在も 6 月になっております。100 年以上前から 6 月 30 日で年度が終わり、7 月 1 日から年度開始となっております。このことは、国際ロータリー定款第 1 条定義 8 にも明記されております。

●幹事挨拶

（田畑 勝久幹事）



7 月 16 日（木）昭島ロータリークラブへ会長と幹事で表敬訪問へ行ってきました。

同日、岡野副幹事と私で、昭和の森芸術文化振興会に出席をいたしました。

7 月 21 日（火）第 5 回多摩中グループ協議会へ会長と幹事で出席をいたしました。

多摩中グループ各クラブより、例会変更の案内が届いております。メイクをなさる方は、事務局までお問合せください。

本日の例会終了後、理事会を開催いたしますので、理事の方々はご出席をお願いいたします。



皆様こんばんは。6月の最終例会で入会いたしました令和最初の会員、重森元樹です。よろしくお願いたします。1978年6月7日生まれの42歳です。約15年前に昭島に引っ越してまいりまして、現在は玉川町に居住しております。出身地は山梨県都留市です。3人兄弟の長男として生を受けましたが、よく末っ子のようなと言われるそうです。高校までの18年間、山梨で過ごしました。子どもの頃は、曾祖母、叔父も一緒に暮らしておりましたので9人の大家族でした。家には誰かしらおりましたので、鍵をかけたことはなく、鍵っ子に憧れを持っていたことを記憶しています。

大学は母親の実家で馴染みのある静岡に進学をし、人文学部法学科で勉強をしておりました。法律を学ぶために大学に入りましたが、悪い友達ができて、ここで競馬を覚えました。当時は97年、98年、99年と黄金世代と呼ばれまして非常に魅力的な馬が多かったことを記憶しております。私はその中でもグラスワンダーという馬に惚れ込みまして、山梨から東京の競馬場まで見に行きました。安田記念でグラスワンダーは私の目の前で2着に敗れました。この頃の愛読書は、六法全書ではなく、競馬四季報でした。3年生になり就職の話も出始めましたので、宅建主任者の資格を取りました。当時は就職氷河期と呼ばれ、民間の就職は厳しく公務員を目指す風潮が蔓延しておりました。生まれつき人とは違ったことをやってみようという思いで、調べて行き着いた資格が司法書士という仕事でした。一度は実家に戻り勉強に専念をして、何とか合格することができました。この期間が1番座学での勉強をした時期だと思えます。資格は取りましたが、地元で実家の力を借りて就職してしまうと、このまま埋没してしまう気がして、東京での就職を目指すことにしました。

いくつか面接を受け、最終的に雇っていただいたのが、当クラブの会員でもありました蜂巣義和の事務所です。面接の翌日の早朝に、いつ来られるかという連絡があり寝ぼけた頭で、翌朝から出勤できますと言いました。それから、しばらく実家から通っておりましたが、通勤に時間が掛かるため、昭島市に引っ越してまいりました。蜂巣事務所では仕事はもちろん社会人としての立ち振る舞いも教えていただきました。色々と紆余曲折があり、仕事も面白いと感じ始めた時に、蜂巣が一線を退き、私を含めて若い3人でやるように言われました。それが今所属をしている昭島司法書士事務所です。蜂巣がロータリーに入会したのもこのくらいの時期であったと思えます。新しい世界に触れて、事務所でもロータリーの話をよくしていました。

2011年にまた私に転機が訪れます。当時クラブ幹事をやっていた蜂巣に、昭島青年会議所の柴田さんに新会員を紹介して欲しいと言われたので、重ちゃんちょっと行って来なさいと言われました。そこで八王子でおこなわれていた東京ブロック大会に初めて行かせていただきました。話は進み、入会することになりましたが、初めは積極的ではなく、少しでも仕事に繋がればいいというお付き合い程度の気持ちでした。しかし、復興支援で福島に行ったり、名古屋の全国大会に行ったりするうちに、打ち解けて頑張っていこうと思うようになりました。

2014年には理事長をさせていただきましたが、これも順風満帆とはいきませんでした。2013年の6月、理事長が内定した時に事務所が蜂巣が倒れました。その日は、昭島青年会議所の例会日で、他の青年会議所と合同例会をする予定でした。私も専務理事として準備を進めておりました。蜂巣が倒れて救急車で運ばれて、手術を受けるだけとなり、することが無くなり、その時にやっと例会のことを思い出し担当委員長に連絡をしました。そのようなつもりは無かったのですが、私は電話口で泣いていました。後はやるから今日は来るなど言われ、自分の精神状態も普通では無かったので、休ませていただきました。

蜂巣先生ですが、身体は元気なのですが、頭の部分で記憶障害が残っている状態です。クラブへ戻ることは難しい状況ではありますが、是非、一緒に活動していた皆様の心の中に思い出として留めておいてください。

青年会議所では短期間で理事長まで駆け上がりましたので、2015年は疲れてしまいました。仕事も忙しくなっていましたので、このままフェイドアウトしてしまおうかとも考えました。ですが、周りにも押され、2016年、2017年と東京ブロック協議会の役員をやらせていただきました。東京ブロックに進出したことで、活動範囲が広くなり、昭島というと、重森さんと言われるようになりました。2018年には青年会議所でも役職をいただき、多少無理をしながらでも職務を全うすることができました。30代の大半を青年会議所と共に過ごしてまいりましたので、どうしてもこの話を中心になってしまい恐縮です。

昭島には、昭島青年会議所、昭島青年経営者クラブ、商工会青年部と団体がございます。青年団体の経験者として僭越ではございますが、ひとつ皆様をお願いをさせていただきます。是非、青年団体にご親族、従業員をはじめ、周りの皆様を送り出す後押しをしていただければと思います。それぞれの団体に特色がございますし、考え方も違いますので、最終的には自分で選べば良いと思います。同世代が切磋琢磨するという人材を抱えるということは、将来的にはクラブの会員増強にも繋がると思います。

少し仕事の話させていただきます。職業は司法書士で、得意な分野は登記全般で、売買に付随する登記、相続登記、会社登記等を扱っております。最近は相続登記のボリュームが増えてきました。自画自賛になってしまいますが、多摩地区の司法書士の中では、知識と経験とネットワークはかなり上位だと自負しております。今まで頼んでいた司法書士にスピード感がない、対応が悪い、サービスが悪い、というご不満をお持ちの方は是非ご相談下さい。

分からないことだらけの未熟者ではございますが、これから頑張っていきたいと思えます。



趣味
史跡巡り、美術品鑑賞、嗜む程度に
ギャンブル（競馬、競艇）
音楽鑑賞、読書

好きな食べ物
焼肉、うなぎ、とんかつ

●ニコニコ BOX 発表 (成田 篤史親睦委員長)



◎伊藤会員
重森さん 卓話御苦労様です。

○鈴木会長
重森会員、本日の卓話楽しみにしております。

○田畑幹事
重森さん 卓話良かったです。

○浅見会員
重森さん、素晴らしい卓話ありがとうございました。

○中村会員
重森さん、卓話ありがとうございました。

・今藤会員
重森さん、卓話ありがとうございました。

・椎名会員
重森さん、卓話ありがとうございました。

・志賀会員
重森様 卓話楽しみにしておりました。
本日はありがとうございました。

・重森会員
これから、がんばってまいります。
どうぞよろしくお願い致します。

・若杉会員
重森会員 卓話ありがとうございました。

●出席報告 (椎名 正明出席委員長)



会員数 48 名

出席義務会員 47 名

本日の出席 28 名

●次週例会予定 (柴田 智幸プログラム委員長)



7月29日(水)
RI 規定による休会

8月4日(水)
「卓話」
米山奨学生
シヨルカル エムディ カシヨル氏

●閉会点鐘 (鈴木 栄会長)

※8月10日(月)～8月14日(金)は事務局夏季休暇となります。クラブに関するお問合せは、幹事田畑までお願いいたします。

ロータリーの豆知識

★「ロータリーの友」はロータリーの情報誌

毎月1回発行している「ロータリーの友」は、世界や日本におけるロータリーの状況や活動について、日本全国のロータリアンが情報や思いを共有できるよう編集、より身近で親しまれる編集を心掛けています。ロータリアン以外の方にお読みいただいてもロータリーのことをお分かりいただけるように編集していますが、基本的にはロータリアンのための機関・情報誌です。

横組みのページには、RIの指定記事、ロータリー特別月間の関連記事、特集などを掲載しています。縦組みのページには地区やクラブの活動、ロータリアン個人としての意見や経験談、職業上の知識などを掲載しています。たくさんの方のロータリアンが参加し、情報や意見を交換し、コミュニケーションを深めることができる「友」をイメージしています。